

1 年次 教務関係ガイダンス

商学部 経営・流通学科
流通マーケティング学系

着席の際は、隣の人と **1 席以上空けて** ください。

配付されたQRコードを読み取って **アンケートに回答** をしてください！

※**座席番号は、自身の座席の背もたれ**にある番号です。

1 年次ガイダンス座席位置確認のお願い

コロナウイルス感染拡大防止のため、座席位置確認にご協力ください。

以下の要領に沿ってアンケートに回答してください。

① QR コードでアンケートサイトに移動する。

A smartphone screen displaying a survey form titled "ガイダンス座席位置 確認について" (Guidance Seat Position Confirmation). The form includes a "送信" (Send) button and a text input field for the student ID. A red dashed arrow points from the student ID field on the form to the student ID on the student card to the right.

ガイダンス座席位置
確認について

匿名で返信します。

* 必須

1. 学籍番号 *

回答を入力してください

送信

このアンケートはフォームの管理者が作成したものです。
返信したメールはフォームの管理者に送信されます。パスワードを記載しないでください。



着席の際は、隣の人と **1 席以上空けて**ください。

配付されたQRコードを読み取って**アンケートに回答**をしてください！

※**座席番号は、自身の座席の背もたれ**にある番号です。

新入生教務ガイダンス

商学部 経営・流通学科
流通マーケティング学系
1年次

大学入学後は、分からないことが多いが、『何が分からないのかを知ること』 そして、分からないことは必ず聞くこと。

配付物の確認

1. 配付書類及び解説
2. 新入生オリエンテーション等日程表
3. 学生便覧
4. 履修ガイド（各学部別）
5. 履修ガイド（K'sLife利用ガイド）
6. 授業時間割表【専門科目・KSU基盤教育科目・外国語科目の3種類】
7. 教職課程について
8. 楽天Edy学生証利用案内
9. 教科書・教材WEB販売チラシ
10. Campus
11. CAMPUS DIARY（学生手帳）
12. CIRCLE GUIDE（学友会誌）
13. 「NHKからの大切なお知らせ」チラシ
14. 「福岡市消費生活センター」チラシ
15. 大学生活を守るための諸注意
16. 定期健康診断日程表
17. 学生教育研究災害傷害保険のしおり
18. キャンパスハラスメント冊子
19. 九州産業大学美術館展覧会スケジュール2021-2022
20. 九州産業大学美術館所蔵品展「face」チラシ
21. 九州産業大学の資格取得講座
22. 広報誌「+K（プラスケー）」
23. 入学直後アンケート
24. キャリア形成基礎論受講のすすめ

封筒の中に、
「配付書類及び解説」（A 4 縦1枚）
に記載されているものが、すべて
入っているか確認してください。

まず初めに

高校と大学の違い

大学生は、自己責任！！

項 目	高 校	大 学
クラス制及び クラス担任	あり（1クラス20人～40人程度）	あり（クラス担任は、1年次のゼミナールの担当教員）
HR/朝礼	あり	なし（大学からの連絡や情報は、掲示板、K's L i f e、インフォメーションディスプレイ及び教務部HPに掲載します。）
学期制	基本的に3学期制	2学期制（前期・後期）
休み期間	8月、12月下旬～1月上旬、3月末	8月上旬～9月上旬、12月下旬～1月上旬、2月～3月
授業時間	50分	100分
1科目の授業 回数	週数回	基本的に週1回
授業形態	「クラス」単位で着席位置を決められていることが多い。クラスごとの時間割に合わせ、各教科の先生が授業を行う。	基本的に着席は自由です。（中には着席位置が決められている授業もあります。） ①講義：先生が学生の前で授業する。 ②実習・実験：先生からの課題などについて実習・実験する。 ③ゼミナール：少人数制で、課題から自分で発表するテーマを決め各自で調査し、みんなの前でプレゼンテーション（発表）などを行う学生中心の授業。

まず初めに

高校と大学の違い

大学生は、自己責任！！

項 目	高 校	大 学
履修(時間割)	決まっている (クラスで共通)	決まっていない(自分で登録する) 自分の興味や、取得したい資格及び将来設計に合わせ、時間割を作成する。卒業要件を確認した後、年次別授業科目配当表及び授業時間割表の中から、自分の学修したい科目を選択する。
教室	クラスで決まっている	授業科目毎に決まっている。 選択した授業の教室に自分が行きます。科目によって、教室の規模が異なります。(30名～多い教室では500名超座席があります)
出欠	取る	取る場合がほとんどだが、取らない場合がある
欠席の連絡	必要	不要(1ヶ月以上の場合には必要)
卒業要件	基本的に学年制	単位制(124単位以上)(卒業要件を確認すること) 基本的には1年間の成績で「留年」と判断されることはありません。 大学では、学修の量を「単位」として計算し、授業科目を履修して、試験に合格すると、定められた単位数を修得することができます。単位数は授業の種類によって定められているので、自分が在籍する学部の卒業に必要な単位数をしっかりと確認しながら、授業を履修することが必要です。
アルバイト	原則禁止	自由

学生便覧とは

『学生便覧』とは？

⇒ 大学のルール（**学則**）や卒業するためのルール（**履修規程**）などが書かれたもの

＊ 商学部授業科目履修規程

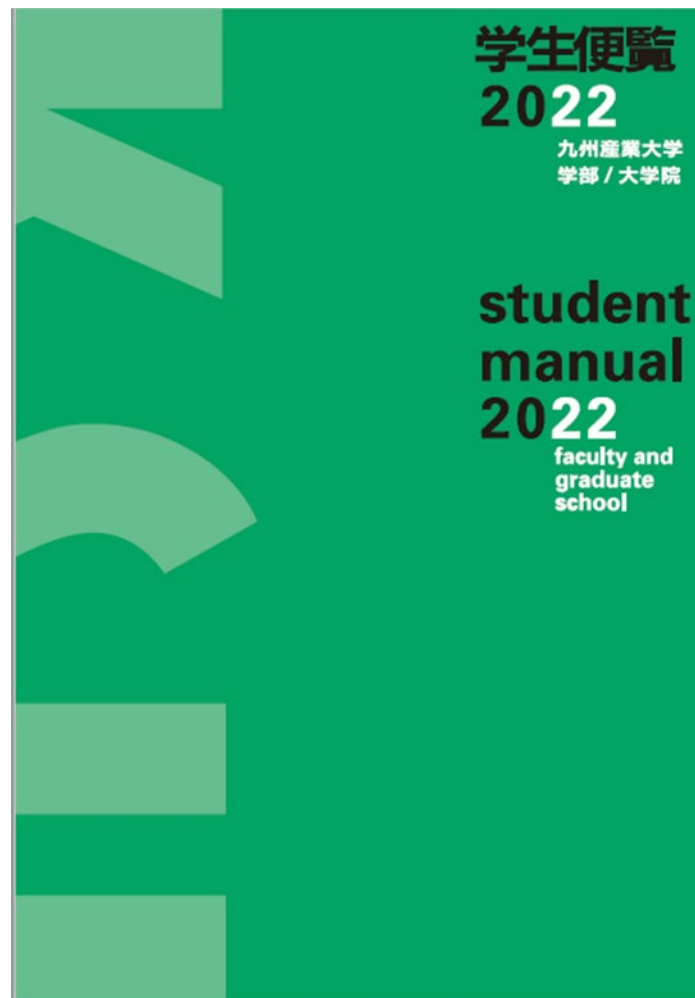
⇒ **96～110ページ**

＊ 重要なことが書かれている

⇒ 『学生便覧』をよく読もう!!

＊ 卒業するまで必要なもの

⇒ 大切に保管してください



学年暦

履修ガイドP.1

授業は、各学期14回

4月		9月		3月	
前学期		夏季休業	後学期		冬季休業
・ 前学期授業開始 4/8 (金) 全14回 ・ 祝日授業実施日 7/18 (月) ・ 補講日 (原則土曜日) 4/9、23、5/6、14、28、6/11、 25、7/9、23 ・ 前学期定期試験 7/25 (月) ~7/30 (土)			・ 後学期授業開始 9/15 (木) 全14回 ・ 祝日授業実施日 9/19(月)、9/23(金)、 11/23(水) ・ 補講日 (原則土曜日) 9/24、10/8、15、11/12、26、12/3、 17、1/11、12 ・ 後学期定期試験 1/16 (月) ~1/21 (土)		
		・ 夏季休業 7/31 (日) ~		・ 冬季休業 12/27 (火) ~	

前学期の成績公開日は、8月30日 (火)
後学期の成績公開日は、3月10日 (金)

卒業要件と単位認定方法

「学則」 大学全体に関するルール

- ・ 第15条：卒業要件（P. 8）

別表第 10 は、P.65に記載。

卒業までに **124単位以上**必要！

- ・ 第18条：単位の認定（P. 8）

授業科目修了の認定は、筆記又は口頭による試験や
その他適当な方法によって行われます。

成績表示は

秀(S)・優(A)・良(B)・可(C)・不可(D/E)

単位修得

受験心得・学生証・教員組織

- ・ 受験心得 (P.412)

定期試験の受験心得。一度は読んでおくこと。

- ・ 学生証の取扱

本人確認できる大切なもの。常に携帯すること!!
内蔵の I C チップを破損しないよう大切に扱うこと。

- ・ 教員組織 (P.417)

商学部経営・流通学科の専任教員は 1 号館10階に
研究室がある。

非常勤講師控室は1号館2階。

用語説明

履修登録とは？

→自分で時間割を作成し、Web登録すること。

K's Life（ケーズ ライフ）とは？

→学生教育支援・事務情報システム

個人の履修登録、成績、連絡通知を閲覧できるWebサイトのこと。

（本学のホームページより閲覧）



シラバスとは？

→授業科目の講義内容や学修計画のこと

K's Life（ケーズライフ）で閲覧可能。

※学生証

＊本人確認できる身分証明書。常に携帯すること

＊内蔵のＩＣチップを破損しないよう大切に扱うこと

履修ガイドについて

履修とは



履修とは：卒業要件を確認した上で、当該学部・学科の授業科目を学修し、単位修得するために授業の受講登録をすること。

履修ガイド：本年度の履修に関する手引書
講義を受ける上での注意事項が
記載している。
必ず一読し、履修登録すること。

履修登録：自分の時間割を作成した上で、WEBで授業科目の履修を登録することです。
学生便覧の授業科目履修規程、年次別
授業科目配当表及び授業時間割表を
確認すること。

シラバスについて

シラバス

科目コード	OFG30001		
科目名	九州地域学		
担当教員	千 相世 木村 俊夫 古賀 俊生 宗像 優 末松 剛 山下 永子 小池 高史 高山 和幸 田代 雅彦 基橋 誠 大月 優子 宮岡 祐司 森下 俊一朗 豊島 茂		
対象学年	1年	クラス	[001]
講義室	N 3 0 2 教室	開講学期	後期
曜日・時限	火 4	単位区分	選択
授業形態		単位数	2
準備事項			
備考			
実務家教員	☐		
A 講義概要/Class Outline	地域を取り巻く環境が大きく変化していく中で、地域住民が地域を見直し、誇りを持ち続けられる社会を築くには、地域の文化的資源の再認識と価値付けが求められる。この授業では、専門領域の異なる教員が連携・総合的に連携しながら、九州の地域課題の本質の根本認識、問題解決に必要な考え方、専門領域横断的の連携を組み合わせることで、対面・遠隔の両方での授業で実施します。		
B 講義計画(テーマ及び学習内容)	回	内容	
	1	九州の観光特性と観光ビッグバンについて学ぶ。	
	2	九州地域の地理的特徴と主要産業の分布について、他の地域との相違点を概観する。	
	3	九州地域における芸術文化を通じた地域活性化の取り組みについて学ぶ。	
	4	九州地域における農業について、その特徴を農産物ブランドから学ぶ。	
	5	九州地域における地方自治の現状と課題について学ぶ。	
	6	九州地域における様々な課題について、憲法、行政法、地方自治法の観点から考察する。	
	7	公的統計を紐解きながら、九州地域の人口構成・移動、住まい、職業などの特徴を学ぶ。	
	8	九州主要地域の発展戦略・都市マーケティング戦略について学ぶ。	
	9	地域に根ざした歴史史料に着目し、先人の育んできた地域社会・文化・生活を概観する。	
	10	アニメ聖地巡礼による九州地域への訪客の可能性について、事例分析・検証から学ぶ。	
	11	温泉王国九州の魅力とは何か、温泉地域の観光の動向とまちづくりについて学ぶ。	
	12	九州の温泉旅館のおもてなしマネジメントについて学ぶ。	
	13	九州の旅行業界のニュービジネスについて学ぶ。	
	14	九州はひとつの理念と九州観光のブランディングについて学ぶ。	
C 到達目標/Class Goal	九州の地域社会や地域課題について学ぶことにより、学部全体の教育を理解し、学部・学科における学習目標を達成すること。		
D 準備学習の内容(事前・事後学習)	事前学習：教科書の該当部分を事前に読んで講義に臨むこと。(30時間程度) 事後学習：教科書で講義内容を復習し、基礎知識や観光用語を確認すること。(30時間程度)		
E 評価基準Grading Criteria	地域共創学部授業科目履修規程「成績評価基準」に基づいて評価する。秀 (S) : 90点から100点、優 (A) 80点から89点まで、良 (B) 70点から79点まで、可 (C) 60点から69点まで、不可59点以下		
F 評価方法/Grading Method	授業中の小テストの結果を総合して評価する。		
G 受講上の注意/Class Rules	講義中は私語を慎むこと。また、講義中は出席確認を行う。		
H 受講制限/Prerequisite	本科目は地域共創学部の全員履修科目であるため、受講生数が教員のキャパをオーバーする場合は、地域共創学部の学生の履修を優先する。		
I 関連する科目Related Class	観光関連科目、地域づくり関連科目		

授業科目名
業概要、授
準などを記
必ず、シラ
履修登録す

K's Lifeによ
にも、シラ
ができます

授業科目名、授業担当教員、授業概要、授業計画、成績評価基準などを記載している。
必ず、シラバスを確認した上で、履修登録すること。

K's LifeによるWeb履修登録の際にも、シラバスを確認することができます。

大学の学修（学修と学習のちがい）

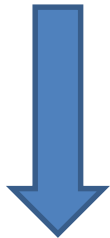
①自分で学修計画（時間割）を作成する。



②自分で履修登録を行う。



③授業を受ける。



レポート
提出



定期
試験



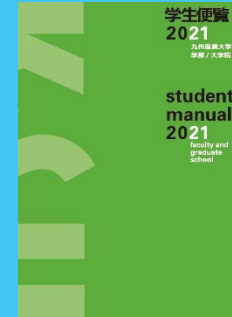
④単位を修得する。



⑤卒業に必要な単位を修得する。



⑥卒業



学生便覧・履修ガイド・
授業時間割表を参照
すること。

科目について

九州産業大学の教育課程

基礎教育科目

- 広く様々な学問を学び人間力を養う

外国語科目

- 英語・英語会話及びその他の外国語科目を学ぶ

専門科目

- 特定の分野について専門的に学ぶ（学部によって異なる）

卒業（124単位以上）

学則

卒業要件

卒業するまでに必要な単位は、124単位！！
但し、卒業要件を満たしていないといけません。

授業科目区分		授 業 科 目 及 び 単 位 数		
専 門 科 目	コース科目	選択必修科目	26単位以上	さらに 専門科目 から 24単位 以上
		選択科目	8 単位以上	
	学系科目		6 単位以上	
	実践力育成科目		12単位以上	
	資格関連科目		4 単位以上	
基礎教育科目		16単位以上		さらに 専門科目、 基礎教育科目 及び 外国語科目から 20単位以上
外国語科目		8 単位以上（英語 6 単位以上）		
合 計		124単位以上		

学生便覧 P.65 or 96

専門科目について

P.106

○は全員履修科目かつ選択必修科目、□は学系内全員履修科目かつ選択必修科目、●は全員履修科目かつ選択科目、△はコース選択必修科目											卒業要件
区分	第1年次		第2年次		第3年次		第4年次				
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位			
共通科目	●コース入門ゼミナール	2	●ゼミナールⅠ	4	●ゼミナールⅡ	4	●卒業論文ゼミナール	8		コースに選択必修単位を含む必修	
企業経営コース	○経営学入門	2	△経営学入門	2	△経営学入門	2	△経営学入門	2			
	○経営学入門	2	△経営学入門	2	△経営学入門	2	△経営学入門	2			
	○簿記論	2	△簿記論	2	△簿記論	2	△簿記論	2			
	○マーケティング入門	2	△マーケティング入門	2	△マーケティング入門	2	△マーケティング入門	2			
ファイナンスコース	○企業経営入門	2	△企業経営入門	2	△企業経営入門	2	△企業経営入門	2		さらに学系から6単位以上 (選択必修26単位以上)	
	○簿記2級	2	△簿記2級	2	△簿記2級	2	△簿記2級	2			
	○簿記3級	2	△簿記3級	2	△簿記3級	2	△簿記3級	2			
	○簿記4級	2	△簿記4級	2	△簿記4級	2	△簿記4級	2			
	○簿記5級	2	△簿記5級	2	△簿記5級	2	△簿記5級	2			
	○簿記6級	2	△簿記6級	2	△簿記6級	2	△簿記6級	2			
	○簿記7級	2	△簿記7級	2	△簿記7級	2	△簿記7級	2			
	○簿記8級	2	△簿記8級	2	△簿記8級	2	△簿記8級	2			
	○簿記9級	2	△簿記9級	2	△簿記9級	2	△簿記9級	2			
	○簿記10級	2	△簿記10級	2	△簿記10級	2	△簿記10級	2			
会計コース	○ファイナンス入門	2	△ファイナンス入門	2	△ファイナンス入門	2	△ファイナンス入門	2		さらに学系から6単位以上 (選択必修26単位以上)	
	○ファイナンス入門	2	△ファイナンス入門	2	△ファイナンス入門	2	△ファイナンス入門	2			
	○ファイナンス入門	2	△ファイナンス入門	2	△ファイナンス入門	2	△ファイナンス入門	2			
	○ファイナンス入門	2	△ファイナンス入門	2	△ファイナンス入門	2	△ファイナンス入門	2			
	○ファイナンス入門	2	△ファイナンス入門	2	△ファイナンス入門	2	△ファイナンス入門	2			
	○ファイナンス入門	2	△ファイナンス入門	2	△ファイナンス入門	2	△ファイナンス入門	2			
	○ファイナンス入門	2	△ファイナンス入門	2	△ファイナンス入門	2	△ファイナンス入門	2			
	○ファイナンス入門	2	△ファイナンス入門	2	△ファイナンス入門	2	△ファイナンス入門	2			
	○ファイナンス入門	2	△ファイナンス入門	2	△ファイナンス入門	2	△ファイナンス入門	2			
	○ファイナンス入門	2	△ファイナンス入門	2	△ファイナンス入門	2	△ファイナンス入門	2			
マーケティングコース	○マーケティング入門	2	△マーケティング入門	2	△マーケティング入門	2	△マーケティング入門	2		さらに学系から6単位以上 (選択必修26単位以上)	
	○マーケティング入門	2	△マーケティング入門	2	△マーケティング入門	2	△マーケティング入門	2			
	○マーケティング入門	2	△マーケティング入門	2	△マーケティング入門	2	△マーケティング入門	2			
	○マーケティング入門	2	△マーケティング入門	2	△マーケティング入門	2	△マーケティング入門	2			
	○マーケティング入門	2	△マーケティング入門	2	△マーケティング入門	2	△マーケティング入門	2			
	○マーケティング入門	2	△マーケティング入門	2	△マーケティング入門	2	△マーケティング入門	2			
	○マーケティング入門	2	△マーケティング入門	2	△マーケティング入門	2	△マーケティング入門	2			
	○マーケティング入門	2	△マーケティング入門	2	△マーケティング入門	2	△マーケティング入門	2			
	○マーケティング入門	2	△マーケティング入門	2	△マーケティング入門	2	△マーケティング入門	2			
	○マーケティング入門	2	△マーケティング入門	2	△マーケティング入門	2	△マーケティング入門	2			
国際ビジネスコース	○国際ビジネス入門	2	△国際ビジネス入門	2	△国際ビジネス入門	2	△国際ビジネス入門	2		さらに学系から6単位以上 (選択必修26単位以上)	
	○国際ビジネス入門	2	△国際ビジネス入門	2	△国際ビジネス入門	2	△国際ビジネス入門	2			
	○国際ビジネス入門	2	△国際ビジネス入門	2	△国際ビジネス入門	2	△国際ビジネス入門	2			
	○国際ビジネス入門	2	△国際ビジネス入門	2	△国際ビジネス入門	2	△国際ビジネス入門	2			
	○国際ビジネス入門	2	△国際ビジネス入門	2	△国際ビジネス入門	2	△国際ビジネス入門	2			
	○国際ビジネス入門	2	△国際ビジネス入門	2	△国際ビジネス入門	2	△国際ビジネス入門	2			
	○国際ビジネス入門	2	△国際ビジネス入門	2	△国際ビジネス入門	2	△国際ビジネス入門	2			
	○国際ビジネス入門	2	△国際ビジネス入門	2	△国際ビジネス入門	2	△国際ビジネス入門	2			
	○国際ビジネス入門	2	△国際ビジネス入門	2	△国際ビジネス入門	2	△国際ビジネス入門	2			
	○国際ビジネス入門	2	△国際ビジネス入門	2	△国際ビジネス入門	2	△国際ビジネス入門	2			
社会情報コース	○社会情報入門	2	△社会情報入門	2	△社会情報入門	2	△社会情報入門	2		さらに学系から6単位以上 (選択必修26単位以上)	
	○社会情報入門	2	△社会情報入門	2	△社会情報入門	2	△社会情報入門	2			
	○社会情報入門	2	△社会情報入門	2	△社会情報入門	2	△社会情報入門	2			
	○社会情報入門	2	△社会情報入門	2	△社会情報入門	2	△社会情報入門	2			
	○社会情報入門	2	△社会情報入門	2	△社会情報入門	2	△社会情報入門	2			
	○社会情報入門	2	△社会情報入門	2	△社会情報入門	2	△社会情報入門	2			
	○社会情報入門	2	△社会情報入門	2	△社会情報入門	2	△社会情報入門	2			
	○社会情報入門	2	△社会情報入門	2	△社会情報入門	2	△社会情報入門	2			
	○社会情報入門	2	△社会情報入門	2	△社会情報入門	2	△社会情報入門	2			
	○社会情報入門	2	△社会情報入門	2	△社会情報入門	2	△社会情報入門	2			
九州ビジネスコース	●インターンシップ入門	2	●インターンシップ入門	2	●インターンシップ入門	2	●インターンシップ入門	2		12単位以上	
	●インターンシップ入門	2	●インターンシップ入門	2	●インターンシップ入門	2	●インターンシップ入門	2			
	●インターンシップ入門	2	●インターンシップ入門	2	●インターンシップ入門	2	●インターンシップ入門	2			
	●インターンシップ入門	2	●インターンシップ入門	2	●インターンシップ入門	2	●インターンシップ入門	2			
	●インターンシップ入門	2	●インターンシップ入門	2	●インターンシップ入門	2	●インターンシップ入門	2			
	●インターンシップ入門	2	●インターンシップ入門	2	●インターンシップ入門	2	●インターンシップ入門	2			
	●インターンシップ入門	2	●インターンシップ入門	2	●インターンシップ入門	2	●インターンシップ入門	2			
	●インターンシップ入門	2	●インターンシップ入門	2	●インターンシップ入門	2	●インターンシップ入門	2			
	●インターンシップ入門	2	●インターンシップ入門	2	●インターンシップ入門	2	●インターンシップ入門	2			
	●インターンシップ入門	2	●インターンシップ入門	2	●インターンシップ入門	2	●インターンシップ入門	2			
実践力養成科目	△実践力養成科目	2	△実践力養成科目	2	△実践力養成科目	2	△実践力養成科目	2		4単位以上	
	△実践力養成科目	2	△実践力養成科目	2	△実践力養成科目	2	△実践力養成科目	2			
	△実践力養成科目	2	△実践力養成科目	2	△実践力養成科目	2	△実践力養成科目	2			
	△実践力養成科目	2	△実践力養成科目	2	△実践力養成科目	2	△実践力養成科目	2			
	△実践力養成科目	2	△実践力養成科目	2	△実践力養成科目	2	△実践力養成科目	2			
	△実践力養成科目	2	△実践力養成科目	2	△実践力養成科目	2	△実践力養成科目	2			
	△実践力養成科目	2	△実践力養成科目	2	△実践力養成科目	2	△実践力養成科目	2			
	△実践力養成科目	2	△実践力養成科目	2	△実践力養成科目	2	△実践力養成科目	2			
	△実践力養成科目	2	△実践力養成科目	2	△実践力養成科目	2	△実践力養成科目	2			
	△実践力養成科目	2	△実践力養成科目	2	△実践力養成科目	2	△実践力養成科目	2			
資格関連科目	△資格関連科目	2	△資格関連科目	2	△資格関連科目	2	△資格関連科目	2		4単位以上	
	△資格関連科目	2	△資格関連科目	2	△資格関連科目	2	△資格関連科目	2			
	△資格関連科目	2	△資格関連科目	2	△資格関連科目	2	△資格関連科目	2			
	△資格関連科目	2	△資格関連科目	2	△資格関連科目	2	△資格関連科目	2			
	△資格関連科目	2	△資格関連科目	2	△資格関連科目	2	△資格関連科目	2			
	△資格関連科目	2	△資格関連科目	2	△資格関連科目	2	△資格関連科目	2			
	△資格関連科目	2	△資格関連科目	2	△資格関連科目	2	△資格関連科目	2			
	△資格関連科目	2	△資格関連科目	2	△資格関連科目	2	△資格関連科目	2			
	△資格関連科目	2	△資格関連科目	2	△資格関連科目	2	△資格関連科目	2			
	△資格関連科目	2	△資格関連科目	2	△資格関連科目	2	△資格関連科目	2			

専門科目

○、□及び△

→選択必修科目26単位以上

専門科目

コース選択科目 8 単位以上

学系選択科目 6 単位以上

専門科目

実践力育成科目 1 2 単位以上

資格関連科目 4 単位以上

○全員履修科目かつ選択必修科目

経営学入門、経済学入門、簿記論、マーケティング入門、企業論入門、情報リテラシー入門

□学系内全員履修科目かつ選択必修科目

流通入門、国際ビジネス入門、社会情報入門

●全員履修科目かつ選択科目

インターンシップ入門、ビジネスインターンシップ、大学スタディスキル、コース入門ゼミナール、ゼミナールⅠ、ゼミナールⅡ、卒業論文ゼミナール

太字の科目は事前に登録されています！

専門科目について

【例】経営管理学系
企業経営コースの場合

年次別授業科目配当表

P.106

商学部経営・流通学科

○は全履修科目かつ選択必修科目、□は学系内全履修科目かつ選択必修科目、●は全履修科目かつ選択科目、△はコース選択必修科目								卒業要件	
区 分	第1年次		第2年次		第3年次		第4年次		
	入門科目		基礎科目		展開・応用科目				
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目		単位
基礎科目	●コース入門ゼミナール	2	●ゼミナールⅠ	4	●ゼミナールⅡ	4	●卒業論文ゼミナール	8	
専 門 科 目	企業経営コース	○経済学入門 ○簿記論 ○マーケティング入門 ○企業論入門 ○情報リテラシー入門	2 2 2 2 2	△経営史 △経営管理論 △経営戦略 △経営情報システム △経営実践入門	2 2 2 2 2	△現代経営史 △技術経営論 △労働関係論 △経営組織論 △ソーシャルビジネス演習	(2) (2) (2) (2) (2)	この枠内から34単位以上 ※そのうち選択必修科目(○・□・△) 26単位以上	
	ファイナンスコース	□ファイナンス入門	2	△ファイナンス論 △保険論 △金融機関論 △金融論 △地域金融論 △ファイナンス・プランニング △国内金融研究	2 2 2 2 2 2 2	△金融政策論 △資金調達論 △証券市場論 △中小企業金融論 △リスクマネジメント論 △コーポレートファイナンス論 △パーソナルファイナンス論	(2) (2) (2) (2) (2) (2) (2)		
	会計コース	□会計学入門	2	△財務会計の基礎 △管理会計の基礎 △財務諸表分析	2 2 2	△原簿計算論 △業種別会計実務A △業種別会計実務B △財務会計論	(2) (2) (2) (2)		
	マーケティングコース	□流通入門	2	△商業史 △交通論 △マーケティング論 △人材マネジメント論 △流通システム論 △流通ビジネス論 △マーケティングリサーチ論 △マーケティングリサーチ演習	2 2 2 2 2 2 2 2	△流通政策論 △小売マーケティング論 △消費者行動論 △広告論 △流通史 △ロジスティクス論 △CSR論 △マーケティング戦略論	(2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2)		
	国際ビジネスコース	□国際ビジネス入門	2	△システム論 △経営管理総論 △国際ビジネス事情 △企業倫理学 △組織論 △国際経営論 △国際マーケティング △国際経済論	2 2 2 2 2 2 2 2	△異文化マネジメント △ビジネスイングリッシュ △国際経営戦略論 △比較経営論 △九州企業国際化事情 △欧米ビジネス特殊講義	(2) (2) (2) (2) (2) (2) (2)		
	社会情報コース	□社会情報入門	2	△データ分析の基礎 △メディア心理学 △コンピュータ概論 △表計算演習 △情報ネットワーク論 △eコマース論 △情報セキュリティ論	2 2 2 2 2 2 2	△データ分析 △データ分析の応用 △マルチメディア論 △マルチメディア演習 △シミュレーション論 △データベース論	(2) (2) (2) (2) (2) (2) (2)		
	実践力育成科目	●インターンシップ入門	2	●九州企業事情 九州企業研究A 九州企業研究B	2 2 2	△九州企業事情 △九州とインターネットビジネス △九州と商業 △九州とコンタクト制作 △九州企業と経営戦略 △九州金融ビジネス △九州とマーケティング	2 2 2 2 2 2 2		
	資格関連科目	△初級簿記 △会計実習A	(4) (2)	△中級簿記 △会計実習B	(4) (2)	△上級簿記 △会計実習C	(4) (2)		
	その他	△初級簿記 △会計実習A	(4) (2)	△中級簿記 △会計実習B	(4) (2)	△上級簿記 △会計実習C	(4) (2)		

授業科目区分	必要 単位数	授業科目及び必要単位数の内訳			
専門科目	80 単位 以上	コースの選択必修科目 26単位以上	コース科目 合計で 34単位以上	学系科目 (所属学系の3コース) 合計で 40単位以上	さらに 専門選択科目 から 24単位以上
		コースの選択科目 26単位を越えた分は そのうち26単位以上を 専攻科目から選択	34単位を越えた分は そのうち26単位以上を 専攻科目から選択	40単位を越えた分は そのうち26単位以上を 専攻科目から選択	
		実践力育成科目 12単位以上	資格関連科目 4単位以上		

ゼミナール科目、経営管理学系科目
及び「学系科目40単位・実践力育成
科目12単位・資格関連科目4単位」
をオーバーして修得した科目の単位
となります。

専門科目について

商学部の特徴

4年間全員ゼミナールに所属

2年次から各コースに所属（マーケティングコース・国際ビジネスコース・社会情報コース）

【実践力育成科目】 1人1プロジェクト

九州ビジネス科目と研修科目で構成されており、商学部の学生全員が、実践的な学びを学修できるように設計しています。卒業までに12単位以上修得しなければいけません。（インターンシップ入門、ビジネスインターンシップは全員履修です。）

【資格関連科目】 1人1資格

1人1資格取得してもらうために設計している科目です。卒業までに4単位以上修得し、是非資格を取得して下さい。（別途資格の単位認定制度あり）

実践力育成科目	九州ビジネス科目	●インターンシップ入門 2	●ビジネスインターンシップ 6	九州とインターネットビジネスⅠ (2)	経営実践演習 (4)	12単位以上
	研修科目		九州企業事情 2 九州企業研究A 2 九州企業研究B 2	九州とインターネットビジネスⅡ (2) 九州と商業 (2) 九州とコンテンツ制作 (2) 九州企業と経営戦略 (2) 九州金融ビジネス (2) 九州とマーケティング (4)	経営実践発展演習 (4) 九州企業経営分析演習 (4) 国際ビジネス比較演習Ⅰ (2) 国際ビジネス比較演習Ⅱ (2) 国際ビジネス比較演習Ⅲ (2)	
資格関連科目			在外研修 4	アジアビジネス研修A (2)	アジアビジネス研修B (2) アジアビジネス研修C (2)	4単位以上
		マーケティング実践演習A (販売士3級) 2	マーケティング実践演習B (販売士2級) (4) ビジネス演習A (ビジネス能力検定2級) (2) ファイナンス演習A (証券外務員二種) (4) ファイナンス演習B (証券外務員一種) (4) 情報処理演習A (MOS Word) (4) 情報処理演習B (MOS Excel) (4) 商業概論 (2)	ビジネス演習B (ビジネスコーチング) (4) ファイナンス演習C (FP3級) (4) ファイナンス演習D (FP2級) (4) 情報処理演習C (MOS Access) (4) eコマース演習 (ネットショップ実務士検定) (4) 職業指導 (4)	中小企業診断士入門 (4) 情報技術基礎演習A (ITパスポート試験) (4) 情報技術基礎演習B (マルチメディア検定) (4)	

これらの科目をきちんと修得するためには、1年次の学びが非常に重要になります

基礎教育科目及び外国語科目について

P.107

区 分	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	卒業要件
授業科目(単位)	授業科目(単位)	授業科目(単位)	授業科目(単位)	授業科目(単位)	
科目大	大学スタディスキル (2)				
科目小	実用英語(文筆力) (2)	実用英語(伝達力) (2)			
	実用数学(計算力) (2)	実用数学(活用力) (2)			
	A1導入 (2)				
	プログラミング導入 (2)				
	データリテラシー (2)				
キャリア	キャリア形成基礎論 (2)	キャリア開発論 (2)	キャリア形成戦略 (2)		
	主催者リテラシー (2)				
	消費者リテラシー (2)				
	九座大力 (2)				
	学生サポーター (2)				
	学生ボランティア入門 (2)				
文理芸術融合科目	実践クロス講座 (2)		インタラクティブディスカッション (2)		
クロス	実践力育成演習 (2)				
	実践力育成演習 (2)				
	課題解決演習 (2)				
	教養講座 (2)				
コア	実践コア講座 (2)				
コア	実践コア講座 (2)				
人文科学科目	日本の歴史 (2)				
	世界の歴史 (2)				
	哲学の世界 (2)				
	文学の世界 (2)				
	心理学の世界 (2)				
	文化人類学 (2)				
	美学・芸術史 (2)				
	芸術の世界 (2)				
	人文科学の世界 (2)				
社会科学科目	法学 (2)				
	日本国憲法 (2)				
	現代の政治 (2)				
	地理の世界 (2)				
	人権・同和問題 (2)				
	ジェンダーと社会 (2)				
	社会科学の世界 (2)				
自然科学科目	科学の世界 (2)				
	地球環境 (2)				
	生物の世界 (2)				
	くらしの中の数学 (2)				
	自然科学の歴史 (2)				
	スポーツ科学演習 (2)				
	心と身体 (2)				
外国語科目	Listening & Speaking I (1) Listening & Speaking II (1) Listening & Speaking III (1) Listening & Speaking IV (1)				
	English Plus (1)				
	English Extensions (2)				
ゼミナール	Four Skills I (2) Four Skills II (2)	TOEIC Plus (2)			
	Labo Training I (2) Labo Training II (2)	Reading Focus (2) Writing Focus (2)			
	Domestic Job Training (4) Overseas Job Training (2)	Business English (2) English Pronunciation (2)			
		Introduction to Translation (2) Global Perspectives (2)			
初修外国語科目	ドイツ語Ⅰ (1) ドイツ語Ⅱ (1)	ドイツ語Ⅲ (1) ドイツ語Ⅳ (1)			
	ドイツ語Ⅰ (1) ドイツ語Ⅱ (1)	ドイツ語Ⅲ (1) ドイツ語Ⅳ (1)			
	フランス語Ⅰ (1) フランス語Ⅱ (1)	フランス語Ⅲ (1) フランス語Ⅳ (1)			
	フランス語Ⅰ (1) フランス語Ⅱ (1)	フランス語Ⅲ (1) フランス語Ⅳ (1)			
	韓国語Ⅰ (1) 韓国語Ⅱ (1)	韓国語Ⅲ (1) 韓国語Ⅳ (1)			
	韓国語Ⅰ (1) 韓国語Ⅱ (1)	韓国語Ⅲ (1) 韓国語Ⅳ (1)			
	実用韓国語 (1) 上級韓国語 (1)				
	中国語Ⅰ (1) 中国語Ⅱ (1)	中国語Ⅲ (1) 中国語Ⅳ (1)			
	中国語Ⅰ (1) 中国語Ⅱ (1)	中国語Ⅲ (1) 中国語Ⅳ (1)			
	実用中国語 (1) 上級中国語 (1)				
日本語	読む・書く A (1) 読む・書く B (1)	読む・書く C (1) 読む・書く D (1)	読む・書く E (1) 読む・書く F (1)		
	アカデミック日本語 (1) 読む・書く B (1)	アカデミック日本語 (1) 読む・書く C (1)	アカデミック日本語 (1) 読む・書く D (1)		
	アカデミック日本語 (1) 読む・書く C (1)	アカデミック日本語 (1) 読む・書く D (1)	アカデミック日本語 (1) 読む・書く E (1)		
	アカデミック日本語 (1) 読む・書く D (1)	アカデミック日本語 (1) 読む・書く E (1)	アカデミック日本語 (1) 読む・書く F (1)		
	アカデミック日本語 (1) 読む・書く E (1)	アカデミック日本語 (1) 読む・書く F (1)	アカデミック日本語 (1) 読む・書く G (1)		
日本	日本の歴史Ⅰ (2) 日本の歴史Ⅱ (2)	日本の文化Ⅰ (2) 日本の文化Ⅱ (2)			
事	日本の政治経済Ⅰ (2) 日本の政治経済Ⅱ (2)	一般日本事情Ⅰ (2) 一般日本事情Ⅱ (2)			

基礎教育科目

全体で16単位以上

※1年次前期のゼミナールである、「大学スタディスキル」は、基礎教育科目の16単位に含まれる

外国語科目

8単位（英語6単位以上）

英語科目

プレイスメントテスト結果をもとに、自分の能力に応じたクラスに編成されます。英語科目2科目が事前に登録されています。

資格の単位認定について

学生便覧P.100、P.108～109参照

学生便覧P.108、109に該当する資格を取得した場合に、卒業に必要な単位として認定される制度があります。

※履修規程第33条を確認！

- ①入学前に、取得している資格。
- ②大学在学中に、取得した資格。

例)

- | | |
|---------------------------------|---------------|
| ●日商簿記 2 級 . . . 2 単位 | } 資格関連科目として認定 |
| ●ビジネス能力検定グローバル試験 1 級 . . . 4 単位 | |
| ●TOEIC560点以上 . . . 4 単位 | } 外国語科目として認定 |
| ●中国語検定試験 2 級 . . . 2 単位 | |

【申請時期】

6月中旬と12月初旬の年2回、申請をする時期があります。
詳細はK'sLife等で通知します。

社会調査士について

社会調査士とは・・・

インタビュー調査やアンケート調査の方法を学び、統計や世論調査の結果を批判的に検討するなど、社会調査の現場で必要な能力をもった「社会調査の専門家」のことで、商学部で開講されている以下の科目の単位を修得することで、資格を取得することが出来ます。

- マーケティングリサーチ論（2年後期）
- マーケティングリサーチ演習（2年後期）
- データ分析の基礎（2年前期）
- データ分析（3年前期）
- データ分析の応用（3年前期）
- 九州とマーケティング（3年通年）

情報収集力・分析力・行動力が身につきます！

授業時間割について

3種類あります。

①専門科目

②「基礎教育・教職・留学生の日本事情科目」 (KSU基盤教育)

③「外国語科目・留学生の日本語科目」 (KSU基盤教育)

②及び③は、全学共通で開講されます。

※基礎教育・外国語科目時間割に記載されている科目は、基本的にどの学部・学科であっても履修できます。（英語はクラス分けされています）

授業時間割について

・ 授業時間割表の見方

講義科目	学系全員履修【流通マーク】	履修対象・科目区分
クラスコードと担当者	国際ビジネス入門	
講義教室	[001]侯 利娟	
	N302	
	[021]~[029]	クラス番号（※クラス分け表を参照）

授業時間割には、**期別**（前期または後期）・**授業科目**・**担当者**・**教室**が記載されている。

クラス欄に**クラス番号**が記載されている科目は、**クラス指定**の科目です。

自分のクラス番号の授業を履修されているか確認すること。

→商学部時間割表の左下の表で確認して下さい。

（クラス分け表のゼミ教員が、1年間のクラス担任です）

全員履修科目は、
事前に登録しています。

（英語は、昨日仮登録されています。）

（スポーツ科学演習も事前登録します。）



ゼミ教員	曜日時間・クラス	ゼミ教員	曜日時間・クラス	ゼミ教員	曜日時間・クラス	ゼミ教員	曜日時間・クラス
安 昭卓	水3・[001]	牟田 正人	月3・[011]	岩永 洋平	火3・[021]	西村 香織	火3・[031]
浦野 倫平	水3・[002]	新田町 尚人	月3・[012]	朝日 亮太	火3・[022]	文 言	火3・[032]
間間 理	水3・[003]	根本 篤司	水3・[013]	鎌 健振	金3・[023]	侯 利娟	金3・[032]
原 康記	月3・[004]	赤城 諭士	水3・[014]	草野 真樹	金3・[024]	菅野 禎盛	金3・[034]
松尾 知也	月3・[005]	浅川 哲郎	月3・[015]	方 慧美	火3・[025]	孫 宏保	金3・[035]
宇山 通	月3・[006]	奥園 幸彦	月3・[016]	侯 聡聡	金3・[026]	高木 昇	火3・[036]
菊池 英貴	月3・[007]	金川 一夫	水3・[017]	脇 夕希子	金3・[027]	福永 良浩	火3・[037]
木下 耕二	水3・[008]	田中 勝	月3・[018]	秦 小虹	火3・[028]	平川 幹和子	金3・[038]
木村 隆之	水3・[009]	鎌 義	月3・[019]	T.D. KEELEY	火3・[029]		
船岡 健太	水3・[010]	安 珠希	水3・[020]	土井 一生	金3・[030]		

授業時間割について

・教室の見方について

N 1 0 1 1号館 1階 N側 1 0 1 教室
2 E 3 0 1 2号館 3階 E側 3 0 1 教室
O A 2 1号館 6階 O A 2 教室
1 6 2 1 1 6号館 2階 2 1 教室
3 4 0 6 3号館 4階 4 0 6 教室

授業時間割を変更する場合

- ①授業が追加される
 - ②受講者数などの理由により、教室を変更する
 - ③担当者が変更するなど
- ※K'sLifeで通知を行います。

履修単位上限数について (CAP)

単位修得に必要な学修時間の確保するため、
1年間に履修登録できる単位数の上限が
定められています。

商学部経営・流通学科

1年次	4	4	単位	(年間)
2年次	4	4	単位	(年間)
3年次	4	4	単位	(年間)
4年次	4	4	単位	(年間)

※ 2年次から、GPAが3.0以上の学生は48単位履修可能

履修単位上限数について (CAP)

4年間の理想的な単位の修得は、

1年次：44単位

2年次：92単位（44単位＋※48単位）

3年次：116単位（92単位＋24単位）

4年次：124単位以上（4年次卒論8単位）

※2年次から、GPAが3.0以上の学生は48単位履修可能

1,2年生の頑張りが3年生以降の大学生活を大きく左右する！

1 年次の単位修得について（重要事項）

- ① 1 年次に**40単位以上**修得すること！
 - ・ 1 年次に20単位以上修得しないと、2 年次以降の授業科目を履修できない。
 - ・ 1 年次に20単位以上修得しないと、2 年次からのコースに所属できない。
- ② 2 年次以降のコース所属については、以下の**3 コースの中から選択**すること！
 - ・ **マーケティングコース**
流通やマーケティングを体系的に学修し、九州のビジネス現場で幅広く活用できる知識と技能を身につける。
 - ・ **国際ビジネスコース**
異質性や多様性に対する受容力を高め、国際ビジネス分野をリードする人材を育成する。
 - ・ **社会情報コース**
次代が求める、社会情報分野の専門知識と技能を身につける。
- ③ 1 年次から 4 年次まで**全員ゼミナール**に所属！
- ④ 単位の修得数が低い学生は、**三者面談（学生・保護者・教職員）**を受けなければならない。
- ⑤ **2 年次にインターンシップ**に行くためには、1 年次後期のインターンシップ入門の単位を必ず修得しなければならない。
- ⑥ 全員が**資格取得**のための科目を 4 単位以上修得しなければならない。
例）マーケティング実践演習B（販売士 2 級）：2 年次以降配当
- ⑦ 全員が**実践（プロジェクト）型の科目**を12単位以上修得しなければならない。
例）九州とマーケティング：3 年次以降配当

英語のクラスについて

英語クラスは能力別クラスとなっており、先日受験した英語プレイスメントテストのスコアによりクラス分けされています。

「Reading & Writing I・II」と「Listening & Speaking I・II」の
4科目は、4/5（火）に仮登録されています。

→英語テスト結果については、4月6日(水)に
大学のポータルサイトK's L i f eを確認すること。

国語科目、数学科目の履修について

国語プレイスメントテスト結果をもとに、国語科目を予め登録している場合があります。

以下の科目が既に履修登録されている場合、必ず履修し、単位修得できるよう頑張ってください。

「人文科学の世界」 「実用国語(文章力)」
「実践クロス講座（応用国語）」

数学プレイスメントテスト結果をもとに、基礎教育センターから「実用数学(計算力)」の履修を促す場合があります。

その際は「実用数学(計算力)」を履修するようにしてください。

受講者数の上限数について

受講者数の上限が設定されています。

履修の画面に

- : 残数が30%以上
- △ : 残数が30%未満
- × : 残数が0%

履修については、早めに登録すること。
教室の規模に応じて、履修登録を制限しているため、教室の座席数を超えて、履修登録することができない設定となっている。



ということは、早めに履修登録しないと、履修できなくなる可能性がある・・・。

令和4年度からの基礎教育科目について

AI導入	AIが社会において与える影響を学び、AIの技術的な仕組みについて学ぶ科目
プログラミング導入	プログラミングに関する基礎知識を深める科目
データリテラシー	高度な数理的分析の前提となるデータの読み方や考え方に関する基本的事項について学ぶ科目
消費者リテラシー	日常生活を送るうえで必ず関わる消費者問題について、その基本概念を学ぶ科目
実践コラボ講座 (ダイバーシティ)	多用な人材（ダイバーシティ）を採用し、彼らの能力を活かして組織にプラスの効果をもたらす人事戦略を学ぶ科目
実践コラボ演習 (SDGs)	SDGsとの関りが、人類と地球との関係に重要な役割を果たすことを学ぶ科目
実践コラボ演習 (AIと社会)	人間とAIとが協働する社会に適応するための講義・演習を行う科目
くらしの中の数学	社会や暮らしに関連した話題について、数学を用いて考察することを学ぶ科目

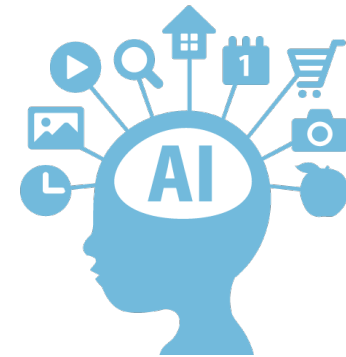
皆さんの将来に役に立つ授業となっていますので、
積極的な受講をおすすめします。

A I ・ データサイエンス副専攻について

A I ・ データサイエンス 副専攻

～学部横断型の学び～

- ① 社会において必要とされる、A I ・ データサイエンスに関する**基礎的な教養を修得する。**
- ② 本学に設置する分野から、横断的にA I ・ データサイエンスに関する**様々な知識・経験を得る。**
- ③ **体系的な学修を通してA I ・ データサイエンスの考え方を理解し、活用することが**できる。



* 興味がある学生は学生便覧P.264をご確認ください。

授業時間割のつくりかた

10:30～Web履修説明会
4/7～4/9履修登録期間
※自分で登録すること。

※時間割（専門・基礎・外国語）に、自分が履修する科目をマークしよう！！

- ①クラス分け表をみて、自分のクラスを確認する。
（基礎ゼミナールの担当教員のクラス番号）
- ②火1・水1・金1は、英語科目を履修するため、空けておくこと。
- ③その他の全員履修科目は、教務課で事前登録をしている。履修説明会（本日）の際に自分で確認すること。
- ④人文科学の世界が登録されている学生は、履修すること。
- ⑤興味のある基礎教育科目をマークする。
- ⑥初修外国語（中国語や韓国語など）をマークする。
（状況に応じて）

※履修登録単位数の上限である44単位履修すること。

WEB履修登録説明会

※WEB履修説明会において、履修登録の仕方をお教えします。

履修登録は、4/7（木）10時に一斉スタート！！それまでに授業科目を選定しておくこと。

WEB履修登録説明会

時 間：4月4日（月）10:30～11:30

場 所：中央会館4階パソコン教室1・2・3・4、1号館6階OA教室3

（教室は学籍番号で分かれていますので、どの教室か確認してください。）

※履修ガイド・授業時間割表を必ず持参すること！

履修登録期間

授業内容・教室の規模に応じて、
履修可能人数を**制限**している科目もあるため注意すること。

履修登録期間

2022/4/ 7 - **10 : 00** ~ 4/ 9 - 23 : 59

前学期・後学期及び通年科目全て上記の期間に履修すること。

前学期登録変更期間

2022/4/11 - **10 : 00** ~ 4/14 - 23 : 59

後学期登録変更期間

2022/9/ 8 - **10 : 00** ~ 9/21 - 23 : 59



「履修登録」や「履修変更」などはK'sLife
で登録を行った**翌日以降**に出力し、内容に
間違いがないか必ず確認してください。

履修登録期間終了後に履修科目の追加・削除はできません。

履修したら

①教科書の購入（履修が確定したら）

- 履修ガイド・教科書購入一覧を参考に自分が履修した科目の教科書を確認する。
- 教科書購入WEBサイトにて購入する。
- WEBサイト公開期間：～5月31日(火)
- 会場受け取り期間：～4月28日(水) 場所：3号館8階

②授業に出席する（半期14回）

- 時間割を見て、教室を確認して、教室に入ってください。
- 教室の変更等は、K'sLifeを使って確認できます。
- 出席登録のためには学生証が必要です。

③休講・補講について

- **休講**：授業担当者がやむ負えない理由で
授業が行われない場合があります。
- **補講**：休講した授業を補うために行う講義。

**休講・補講の情報はK'sLifeで通知します。
毎日、確認してください。**

試験について

前学期定期試験 2022/7/25（月）～7/30（土）

後学期定期試験 2023/1/16（月）～1/21（土）

以下に該当すると試験が受けられません！！

- ・履修登録をしていない。・授業の出席回数が2分の1に満たない。
- ・修学費を納めていない。・学生証を所持していない。・試験に20分以上遅刻した。

定期試験時間割表は試験開始 2 週間前に**教務部HP**に掲載します。
（紙での配布はありません）
必ず確認を行い、受験忘れなどしないように注意して下さい

追試験

- ・病気その他**やむを得ない事由**で定期試験を受験できなかった学生に対して行う試験。
- ・追試験を申し出ることのできる要件は学生便覧で確認すること。
- ・定期試験最終日の翌日（12:30締切）までに、所定の書類を教務課に届けること。

教職資格等について

教職・学芸員・社会教育主事・司書等 資格取得が可能

教職課程…………… **1 年次後学期**から履修開始。
1年次生を対象に **7 月頃教職ガイダンス**を実施します。

司書・学芸員・社会教育主事・・・ **1 年次前学期**から履修開始

資格課程ガイダンス（司書・司書教諭・学芸員・社会教育主事）
4月7日(木) 17時00分～ S201教室

※希望者は必ず出席してください。

奨学金関連のお知らせ

「日本学生支援機構」

※高校時に申請を行い「採用候補者」となった学生が対象!!

経営管理学系：4月5日(火)10時30分～ S201教室

流通マーケティング学系：4月6日(水)16時30～ S201教室

※なお、高校時に申請していない方で、日本学生支援機構奨学金の貸与を希望される方につきましては、この説明会ではなく、新規在学採用の説明会を別途開催します。

掲示板等で日程・集合時間等を確認のうえ、出席してください。

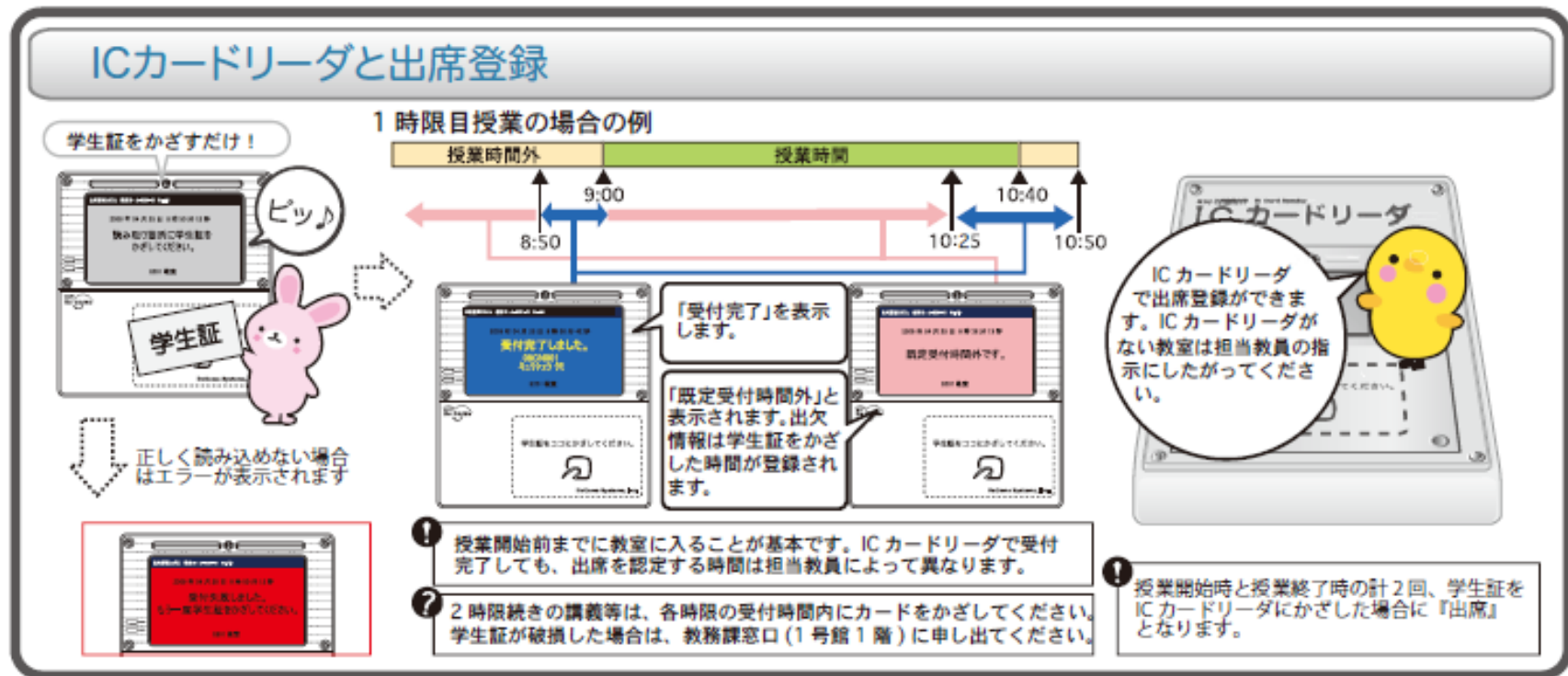
ご不明な点については、1号館3階の厚生課にお尋ねください。

4月8日（金） 授業開始

※履修登録変更期間は、**4月14日(木)**まで
ですが、授業によっては出席を取り、授業
の内容も進んでいきます。

受講希望の授業には必ず出席しましょう！

授業の出席について



- ・入室時間：授業開始10分前～授業開始まで（10分間）
- ・退出時間：授業終了15分前～授業終了後10分後まで（25分間）
※授業開始から15分後までは「遅刻」となります。

※ICカードのかざし忘れには注意すること。

※かざす時間帯に注意すること。

教務部HPについて

教務部ホームページ

教務部ホームページをオープンしました。

授業や時間割など教務に関する情報を掲載していますので皆さん確認をしてください。

トップページ

- ・教務課からのお知らせ

教務関係のお知らせを掲載します。

- ・よくある質問

問い合わせが多い内容を掲載します。

- ・ピックアップ

旬な情報を掲載しています。

- ・スケジュール

学生便覧の内容を分かりやすくまとめました。
卒業要件や履修のルールを確認してください。

- ・教室検索

- ・利用の手引き

- ・学籍関係

etc.....

学部のページ

- ・履修・授業・卒業に関すること

履修規程の要点を分かりやすくまとめました。
卒業要件や履修のルールを確認してください。

- ・時間割

授業の時間割を掲載しています。
試験前は試験時間割を掲載します。

- ・学部からのお知らせ

教務関係のお知らせを掲載します。

- ・よくある質問

問い合わせが多い内容（学部）を掲載します。

- ・ピックアップ

旬な情報を掲載しています。

etc.....

<http://www.eas.kyusan-u.ac.jp/>



チャレンジマンズについて

チャレンジマンズとは

100分授業の導入に応じて、
夏季や春季の休業期間の延長

→ **長期休業期間中の学外での活動を推奨**

（例：海外研修・留学、ボランティア等の社会貢献活動、インターンシップ参加など）

◇ **夏季：7月31日（日）～9月14日（水）**

◇ **春季：1月23日（月）～3月20日（月）**

出席について

出席について

本学学生のデータ分析の結果、

授業全体の出席率が**80%以下**（欠席3回以上）になると、**単位修得率が大きく下がる**ことが分かっています。

→急な病気等で休まないといけないこともあるので、

普段から授業には**きちんと出席**すること。

オンライン授業の場合は、**きちんと課題提出**をすること。

※課題の提出方法等が不安な場合や分からない場合は担当教員または教務課に確認すること！

三者面談について

三者面談

- ①学期途中（①4月末、②6月末）で出席率が低い学生については、保護者の方へ**注意文書**を送付します。
- ②連続して対象となった学生については、**警告文書、退学勧告文書**を送付します。
- ③学期末に出席率、GPA、修得単位数が低い学生については、**三者面談**を行います。
- ④改善が見られない場合については、学則に基づく**懲戒（訓告、退学処分）**を行うことがあります。



対象にならないように、授業には**必ず**出席しましょう！

※途中で諦める科目が発生した場合は、全体の出席率が下がるので、履修はよく考えて行うこと。

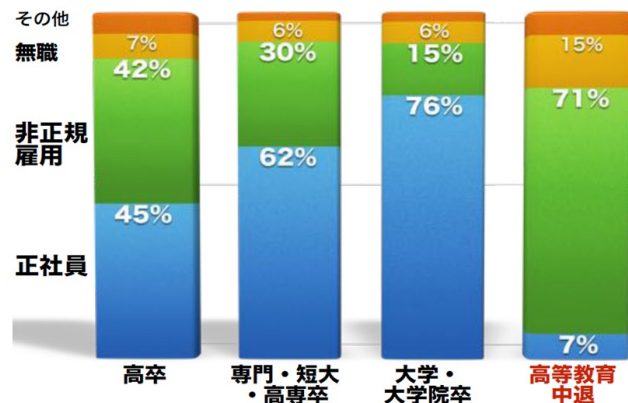
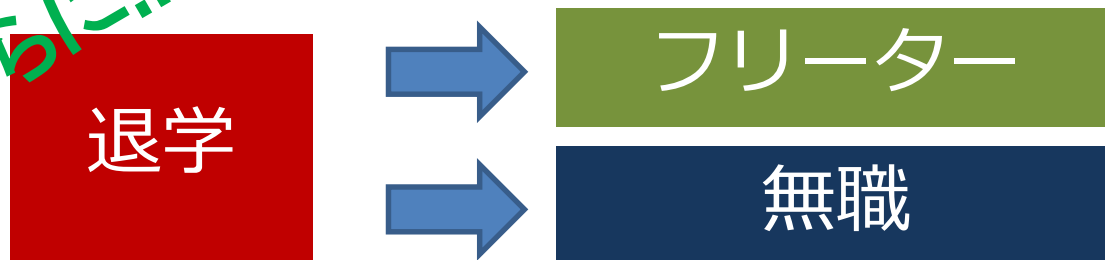
除籍退学について

本学の調査では・・・出席状況が悪いと退学につながる傾向があります。



1年次終了時10単位以下 → 4年次終了までにほとんど（約90%）が退学に至る。
※単位修得数が少ないと、2年次以降希望のゼミ・コースに入りにくくなるし、就職活動にも悪影響となり、学生生活における制約条件が多くなることは言うまでもない・・・。

さらに!!



独立行政法人 労働政策研究・研修機構「第3回若者のワークスタイル調査」(2012年)より

大学・専門学校中退後、男性の54.1%、女性の63.4%がずっとフリーターか無職である。

出典：労働政策研究所・研修機構
「大都市の若者の就業行動と移行課程」

1年次の単位修得について（重要事項）

1年次20単位未満になった場合の負の連鎖



さらに…
2年次終了時36単位未満の場合は、
3年次に進級できない。

各種掲示板・連絡通知について

※時間割の変更、休講・補講、教室変更、科目担当者からの連絡などは・・・

- ① K's Lifeで通知される
- ② 教務部HPに掲載される



毎日確認すること!!

本日以降の予定について

4/6（水）

10:30～11:30：WEB履修説明会

パソコン教室 1：21CB401～475

パソコン教室 2：21CB476～550

パソコン教室 3：21CB551～620

1号館 6階OA教室 3：21CB621～

13:00～15:00：第1回大学スタディスキル＜S201＞

4/8（金）授業開始

※詳細は、新入生オリエンテーション等日程表を確認すること

コロナウイルス感染症拡大に伴う 本学の対応について

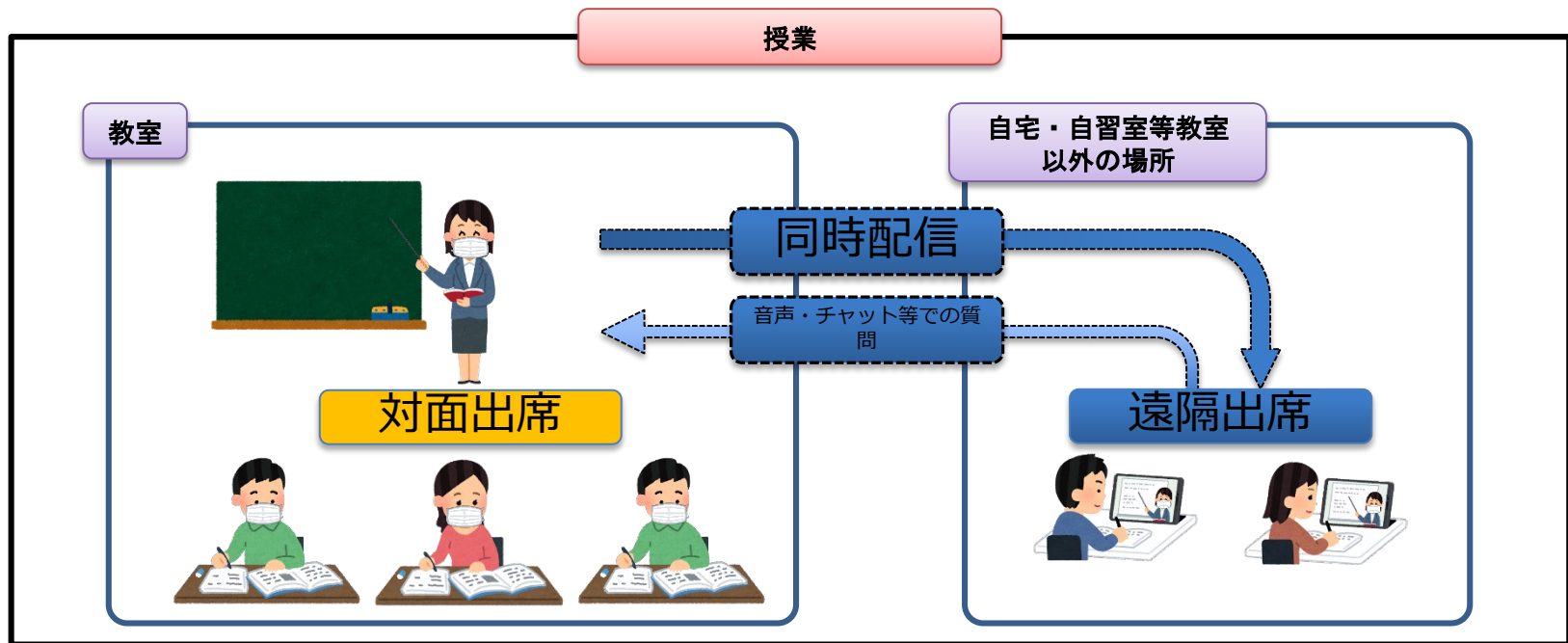
K' sLife、大学HPで随時情報を更新していますので、必ず確認するようにしてください。
大学への出校等に関わる本学の方針に従い、各自、自己防衛に努めてください。

授業の実施形態について

レベル1～2における「対面授業と遠隔授業を併用して授業を実施」の方法は、**ハイフレックス型**とします。

ハイフレックス型とは、教員は原則としてZoomを使って教室で授業を行い、学生の皆さんは対面出席、遠隔出席のいずれかの方法で授業に参加する方法を指します。

【ハイフレックス型のイメージ】



授業の実施形態について

～全学統一のグループ分け方法～

学生の皆さんの受講環境（対面出席と遠隔出席が同日に重ならない）に配慮し、**感染拡大防止と、学修機会の確保を両立させるため**、大学として統一して、以下の方法で出席率の調整を行います。

- ①全学生をA / B / C / Dの4グループに分けます。
一度、指定されたグループは、基本的に変更しません。



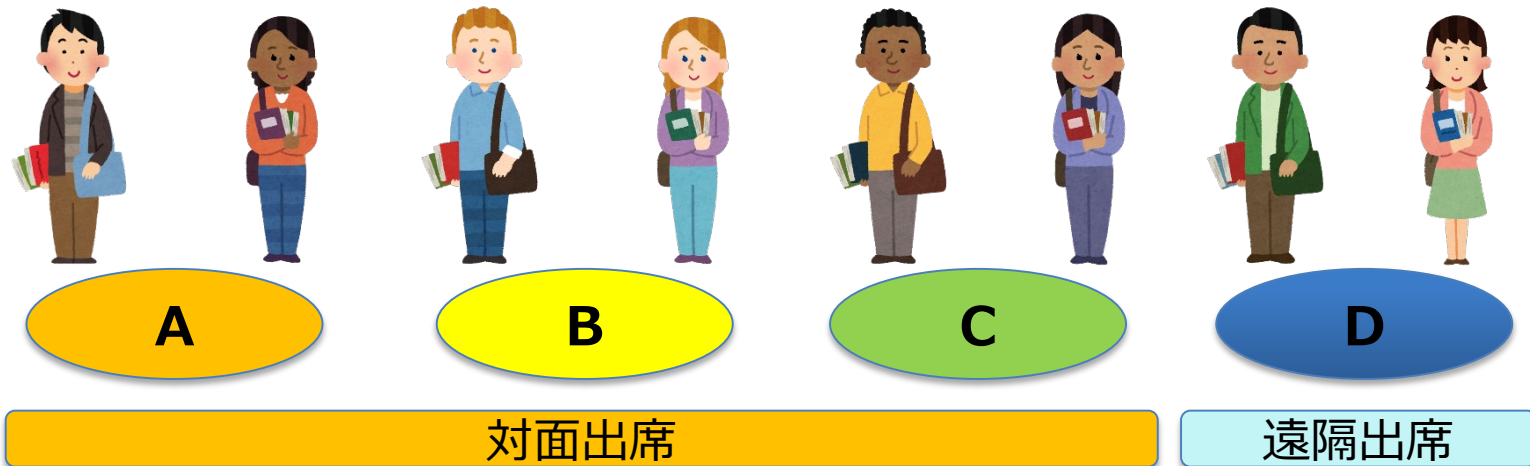
グループ分けの結果は、K'sLifeで通知しているので、確認してください。

授業の実施形態について

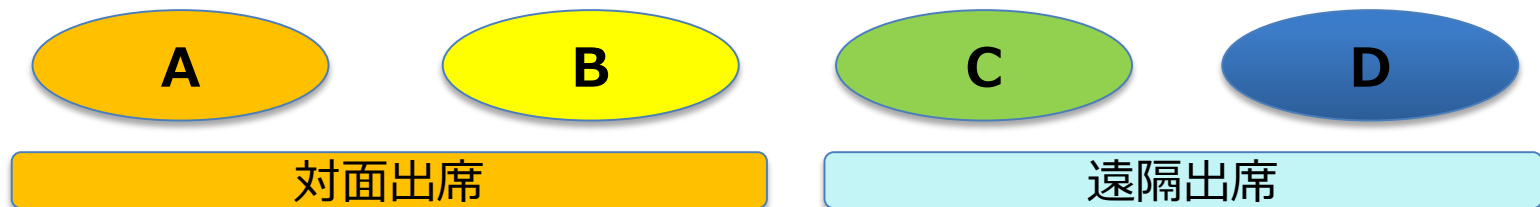
～対面・遠隔出席の調整方法～

② **レベルに応じて**、対面出席のグループを指定します。

【レベル1】3グループを対面出席とする場合



【レベル2】2グループを対面出席とする場合



グループ分けの結果は、K'sLifeで通知しているので、確認してください。

授業の実施形態について

～対面・遠隔出席の調整方法～

- ③実際の出講日については、**学年暦のカレンダーを用いて、以下のように対面出席するグループを指定**します。指定は学期単位で行いますが、授業期間途中でレベルが変更になった場合は、対面出席グループを再指定し、改めて周知します。

【例：3グループを対面出席とする場合】

4 月						
日	月	火	水	木	金	土
3	4	5	6	7	8 授業開始 BCD ①	9 ABCD ①②
10	11 CDA ①	12 DAB ①	13 ABC ①	14 BCD ①	15 CDA ②	16
17	18 DAB ②	19 ABC ②	20 BCD ②	21 CDA ②	22 DAB ③	23 ABCD ③④
24	25 ABC ③	26 BCD ③	27 CDA ③	28 DAB ③	29 昭和の日	30

出席グループは、K'sLifeで通知しているので、確認してください。

授業の実施形態について

ただし、

学部学科、授業科目により、実験実習、演習、ゼミナール科目等については、教育効果を考慮し、**遠隔グループであっても、対面での出席を求められることがあります。**

その際は、授業科目担当者等の指示に従ってください。

- ・遠隔グループであっても、対面での出席を希望する場合は、授業科目担当者に申し出てください。
- ・体調不良等の場合は出校しないでください。対面出席のグループの場合は、授業科目担当者に相談してください。

各科目毎に授業連絡等を必ず確認すること！

不明な場合は、授業担当教員もしくは教務課まで確認すること！

最後に①



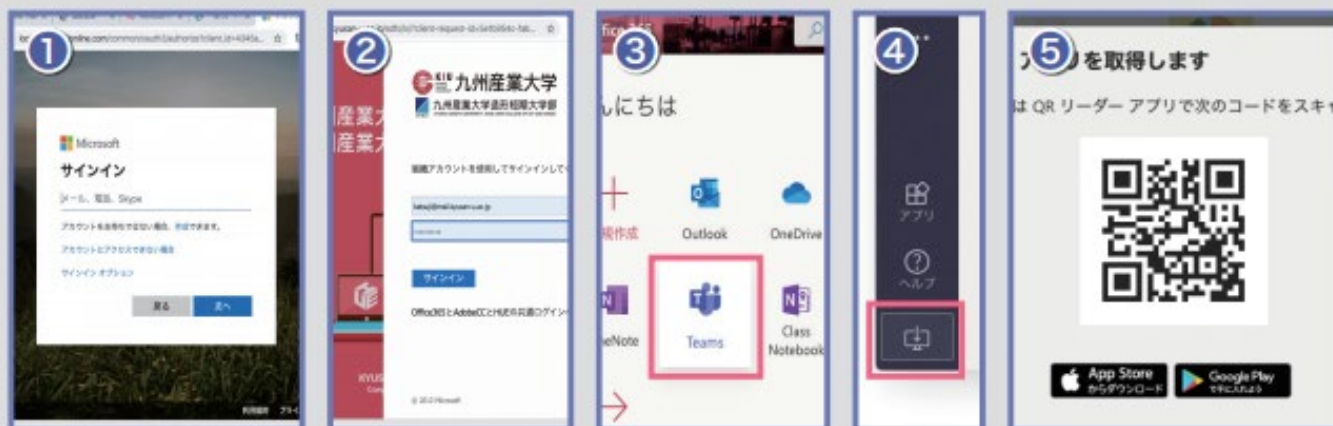
Microsoft Teams

商学部1年生のチームを作ります。
教務課から皆さんに伝えることなど、こちらを使用しますので、**モバイルアプリをダウンロードして、通知をオン**に設定してください。
質問などありましたら、チャットでも受け付けます！

はじめに (Office365 にログインし Teams を表示)

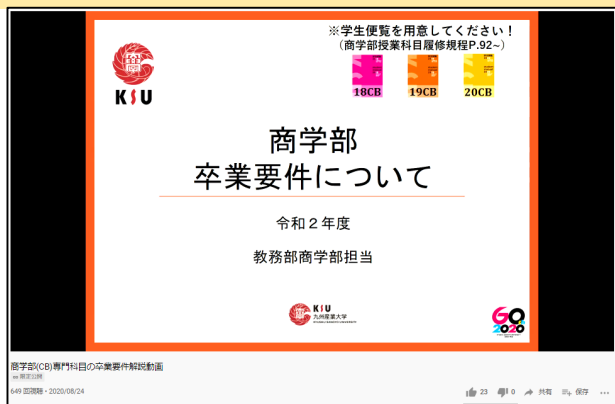
Office365URL

<https://portal.office.com/>



上記 Office365 の URL にアクセスし、①本学のメールアドレスを入力し、次へをクリックします。
② K'sLife と同様のパスワードでサインイン後、③ Teams をクリックします。なお、④デスクトップアプリをダウンロードから、パソコン用アプリをインストール可能です。また、⑤の QR コードから Teams モバイルアプリをダウンロードできます。

最後に②



【動画①】

R2年度8月末に、1～4年生向けに作成した卒業要件解説動画です。専門科目の各要件について細かく解説しています。概要欄にはキャプチャーもあります。

<https://youtu.be/fNrBmjVMIYc>



【動画②】

R2年度の初年次ゼミナールで行った、ワークシートの解説動画です。余裕がある人はこちらも視聴ください。後半部分は、総合情報基盤センターからOffice365の使い方等の解説です。

<https://www.youtube.com/watch?v=PxJi7b2OUIY>



第4回大学スタディスキルでは、卒業要件をどれくらい理解できているか、ワーク形式で授業を行います。

それまでの事前学習として、本日のガイダンスの振り返りと、卒業要件について解説している本動画を見て、4年間でどのように単位を修得する必要があるか理解を深めておいてください。

最後に③

時間割、履修、授業など分からないことがあったら、
すぐ教務課へ!!

092-673-5906←登録してね ^^

大学スタディスキルに先輩学生のL A（ラーニング・アシスタント）を配置している。
積極的にL Aを活用すること!!

分からないことを分からないままにしないこと。
必ず聞くこと。

KSU 基盤教育とは

社会で活躍できる「基礎力」を培う教育プログラムです

KSU 基盤教育で学ぶこと

教養科目（基礎教育科目）

国語、数学、歴史、憲法、政治、スポーツ科学など、広くさまざまな学問を学ぶことにより、社会で生きていくうえで必要な教養を身につけることができます。

外国語科目

グローバル社会で活躍するために、英語・英会話を中心に学ぶことにより、英語での日常会話を身につけることができます。

専門基礎科目

1年次及び2年次の入門的・基礎的科目を体系的に学修することにより、専門課程へスムーズに移行することができます。

👉 ココがポイント！

従来の学部や学科ごとに授業科目を開講する教育プログラムとは違い、全員・2年間・全学共通で授業科目を受講することによって、しっかりとした大学生活の基盤（土台）を培うことができます。

これにより、高校から大学へのスムーズな移行ができ、入門⇒基礎⇒応用・展開というように、体系的に学修できるようになります。

